

1 基本理念

朱雀地区すべての住民の生活を、今よりも“楽しく安心・安全”で住みよいまちにする為、構成団体からの意見を踏まえ、様々な地域課題に取り組むプラットフォームづくりを行ない、包括的に協議し対応する。

2 計画概要

①地域自治にかかわる様々な構成員がまちづくりについて協議する仕組みづくり

- i まちづくり協議会による地域への情報発信を、構成団体との連携をしながら充実させる。(広報誌の発刊、ホームページの活用 など)
- ii 地域課題を解決に導くため、まちづくり協議会の活動に、地域住民や有識者からの助言を得て、協議する仕組みを構築する。(令和3年度から実施)
- iii まちづくりに関する研修や、先進地域へ出向いての研修など、当地区のまちづくり協議会の取り組みの意識向上を図る。
- iv 地域自治の推進に向けて、まちづくり条例を遵守し、運営の見直し等継続して協議を進める。

②まちづくり協議会と単位自治会の連携強化

- i 単位自治会(地域住民)はまちづくり協議会の核であり、連携は不可欠。そのため話し合いの場、協働して問題解決に取り組むための話し合いを設定する。(令和元年より自治会ヒアリングを開催し、問題解決に取り組んでいる)
- ii 役員の担い手づくりや、自治会加入率減少の大きな課題や、自治会の負担軽減のための仕組みづくりを、まちづくり協議会と単位自治会で継続協議する。

3 今後の取り組み

①自治会(住民)や構成団体への支援

- i 自治会へは、様々な問題解決のため包括的な支援を優先して行う。
- ii 構成団体の主催する行事や取り組みについて協働して支援し、場合によっては共催補助金をもって支援する。
- iii 上記1および2項の計画実行にあたり、オール朱雀で取り組めるような場づくり、提案・協議しやすい仕組みを構築し、支援を行う。

②情報の伝達

広報誌やホームページの利活用で、広く周知に努める。

③運営上の改善策

運営において、会則変更や役員の選任など、今後の進捗状況を勘案しながら、適宜協議の上進める。